

---

# JCSS

## 仮設足場用侵入検知システム

---

*Japan Custom Security System*

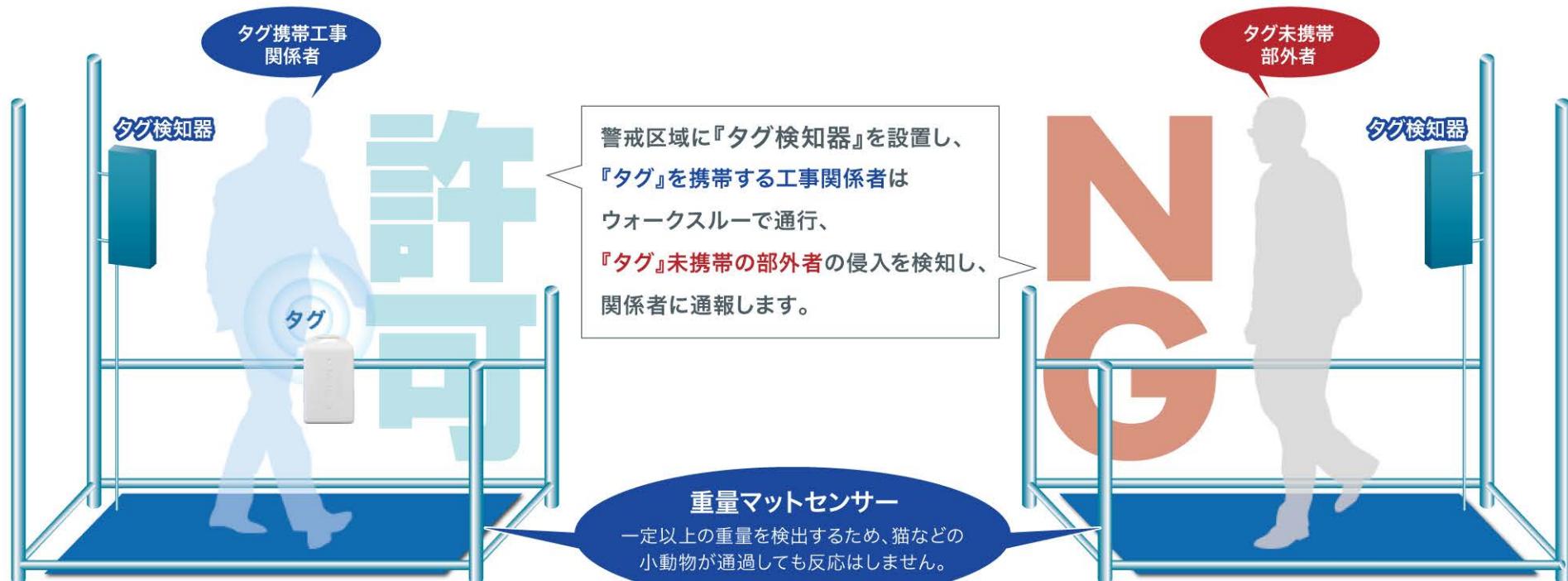


## 侵入検知システム

# 侵入検知システム

集合住宅の修繕工事期間中に、建築足場を利用してした不正侵入、空き巣被害が増えています。工事期間中の居住者様の安心と安全を確保するために、不正侵入を防止するセキュリティ対策が必要です。

『JCSS』は、足場を利用して侵入する部外者を検知し、居住区への侵入を未然に防ぐ最も有効なセキュリティシステムです。



## 侵入検知システム

# 概要

工事関係者はタグを携帯しているため、警戒区域を通行することができます。タグ未携帯の部外者が、警戒区域に侵入すると、警報・警告と、関係者の携帯や警備会社に通報し、部外者の居住区への侵入を未然に防ぎます。



## 侵入検知システム

# 特徴

『高セキュリティ』『簡単設置』『低コスト』で、不審者の侵入を防止できる建築現場足場用不正侵入検知システムです。

部外者の居住区への侵入防止はもちろん、居住者の不用意な足場への侵入を検知することで、工事期間中の事故を未然に防ぐことができ、居住者の安心と安全が守られます。

### 高セキュリティ

従来の赤外線センサーによる検知方法ではなく、重量センサーを用いることで  
環境要因(光の反射や温度変化)の誤報と、小動物通過時による誤報がゼロになりました。  
一定重量以上の人間が通行した時のみ検知します。



### 簡単設置

侵入検知システムは、バッテリーで動作するため配線工事が不要です。  
重量センサーは足場に簡単に取付けでき、短時間で機器の取付が可能です。



### 低コスト

「必要な時に」「必要な期間だけ」システムを利用できるレンタルサービス対応。  
搭載バッテリーでシステムは4ヵ月間駆動し、工事期間中の電池交換メンテナンス不要です。



### 誤報ゼロ

環境要因による誤報はありません。

### 配線工事および費用が不要

インターネット回線契約や設定が必要ありません。

### メンテナンスフリー

## 侵入検知システム

# 他社比較

	A社	B社	当社
検知方式	赤外線センサー	赤外線センサー+カメラ	重量マットセンサー
誤報	環境要因による誤報(太陽光角度の変化、周辺温度変化、光の乱反射)。環境要因による誤報は、現場ごとに設置状況が異なり、原因特定が困難。 小動物には反応しないセンサーネットワーキング。	センサー誤報は、サポートセンターからのカメラ映像を監視・確認することでカバー。(小動物:猫・鳥にも反応)	重量を検知するため、環境要因による誤報なし。 マットセンサーに物を置くなど目視で誤報原因の特定が可能。 誤報原因特定が容易。一定以上の重量を検知するため、小動物通過時は反応しない。
機能	メール転送機能・警備会社連動は別途オプション(通信回線や警備会社契約・機器設置がオプション)	センサー発報時カメラ映像で確認できる。監視業務はサポートセンターが担当し、現場側の手間必要なし。	メール転送機能・警備会社連動(契約・設置)機能を標準搭載。 現場ごとに回線契約も不要。レンタル機器に通信機器・回線料金込み。
施工性 メンテナンス性	機器はバッテリー搭載のため配線工事不要。 メーカー側スタッフによる施工。定期メンテナンス(月1回)が発生。	機器は有線方式で電源供給。そのため配線工事が必要。監視・メンテナンス業務はサポートセンターが行う。	機器はバッテリー搭載のため配線工事不要。 足場にマットセンサーとユニットを設置するだけの簡単施工。 バッテリー駆動期間は4ヶ月でメンテナンスフリー。
コスト	機器はバッテリー駆動で配線工事不要であるため低コスト。	有線方式のため、別途配線工事費用が発生。サポートセンターによる監視業務サービスが含まれるため高コスト。	施工性・メンテナンス性が優れているため、工事費が低成本、メンテナンス費ゼロ。機器は標準でフル機能を搭載しているにも関わらず低成本。

## 侵入検知システム

# 構成機器

『建築シートによる犯罪抑止』『ICタグ／重量マットセンサーによる侵入検知』『侵入検知時の通報』を備えた仮設足場専用侵入検知システムです。

## アナウンスシート



侵入検知システムが作動していることを示す建築シートを掲げることで、犯罪抑止効果が期待されます。

## 高感度小型タグ



工事関係者が携帯するタグです。  
防水性能(IP66)、ケース素材に  
ポリカーボネイトを採用。

外形寸法:  
31.5mm(幅)×56.5mm(高)  
×約11.7mm(厚)

## タグ検知器／重量マットセンサー



警戒区域にタグ検知器と  
重量マットセンサーを設置し、  
タグを携帯する工事関係者と、  
タグ未携帯の部外者を判定します。  
タグ未携帯の部外者を検知すると、  
メインパネルに信号を送信します。

※小動物(猫や鳥)が通過しても検知  
しません。

## メインパネル



タグ検知器がタグ未携帯の部外者を  
検知した場合、IPコントローラに  
侵入警報を通知します。  
関係者へのメール転送機能、  
契約警備会社への通知機能を  
標準搭載しています。

## 中継器

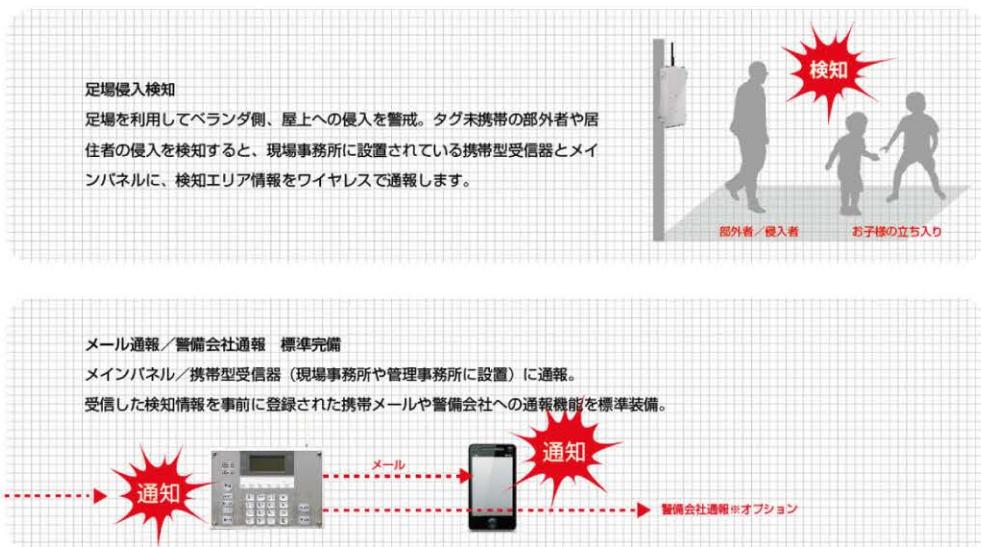


タグ検知器からIPコントローラまでの  
距離が遠い(見通し100m以上)場合や、  
見通しが悪い場合は、見通し可能な  
場所に中継器を設置します。

## 侵入検知システム

# 夜間・休日プラン

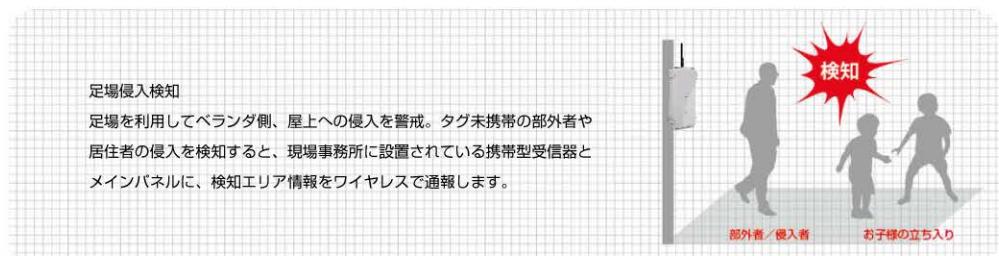
作業のある日中は警戒モードを解除し、夜間と休日のみ警戒モードをセットするプラン。警戒モード中にセンサーが侵入者を検知すると、関係者へのメールを通報するプランです。警戒モード解除中はセンサーは動作しません。



## 侵入検知システム

# ICタグプラン

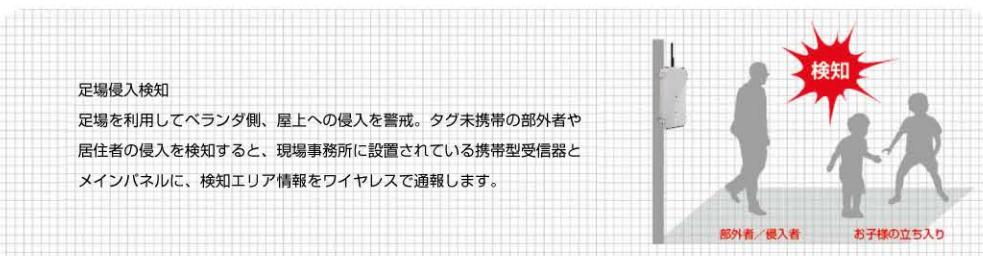
24時間警戒モードにより、作業のある日中も部外者・侵入者を警戒します。工事関係者はICタグを携帯することにより、警戒エリアをフリーパスで通行できます。



## オプション

# ICタグプラン／夜間・休日プラン + 警備会社連動プラン

ICタグプラン、夜間・休日プランには、センサーが部外者を検知した場合、事前に登録された携帯メールアドレスに検知情報を送信する機能を標準で搭載しています。警備会社連動プランは、センサー検知時に警備会社にも検知信号を送信することで、警備会社が現場に駆けつけるオプションプランです。



※現場の地域近隣により、警備会社連動プランがお使いいただけない場合がございます。  
(25分以内駆けつけが不可能な場合)事前に住所からお調べすることができますので、お問合せください。

## 侵入検知システム

# 検証実験

敷地内に仮設足場を設置し、重量センサーマット耐久試験や電波受信テストを実施。

